

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 イマジニア株式会社

コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 神藏 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO

(氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,694	10.2	363	66.5	393	72.4	268	73.4
26年3月期第2四半期	1,537	△24.9	218	△59.3	228	△55.3	154	△54.9

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 253百万円 (161.3%) 26年3月期第2四半期 96百万円 (△71.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	28.00	—
26年3月期第2四半期	16.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
27年3月期第2四半期	9,169	8,605	8,605	93.8	896.25	
26年3月期	8,991	8,468	8,468	94.1	881.89	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 8,602百万円 26年3月期 8,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,725	0.9	700	3.4	700	△19.4	420	△29.3	43.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	10,649,000 株	26年3月期	10,649,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	1,051,321 株	26年3月期	1,051,321 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,597,679 株	26年3月期2Q	9,597,683 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費及び設備投資に弱い動きがあるものの企業収益及び雇用情勢などは改善し、全体としては緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外の経済の下振れなど不安定な要因もあります。

当社グループに関連するモバイルビジネスを取り巻く環境は、スマートフォンが国内のみならず世界的に普及が進んでおります。

このような環境下におきまして、中長期的な経営の方向性を「新たな成長へのチャレンジ」と定め、スマートフォン向けの新たなビジネスの構築に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,694,072千円（前年同期比10.2%増）、営業利益363,056千円（前年同期比66.5%増）、経常利益393,761千円（前年同期比72.4%増）、四半期純利益268,760千円（前年同期比73.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。これに伴い、前年同期比較の数値は、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「II 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

（モバイルコンテンツ事業）

モバイルコンテンツ事業におきましては、新たなビジネスの構築を目指して、スマートフォン向けのキャリア主導サービス及び月額課金サービスの提供の拡大、新しい教養メディア「10 M T V オピニオン」の普及、「LINE」等のメッセージサービスへのビジネス拡大、海外へのコンテンツ提供に取り組んでおります。

上記の結果、売上高1,223,247千円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益424,590千円（前年同期比9.7%減）となりました。

（モバイルコマース事業）

モバイルコマース事業におきましては、前連結会計年度に引き続き、デジタルコンテンツとの連携を図り集客を強化することによって、スマートフォン向けのコマースビジネスの拡大及び、ライセンス及びセールスプロモーションビジネスとしてライセンス提携先の拡充に取り組んでおります。

上記の結果、売上高174,640千円（前年同期比31.7%減）、セグメント利益3,872千円（前年同期比26.8%減）となりました。

（パッケージソフトウェア事業）

パッケージソフトウェア事業におきましては、「メダロット」シリーズの続編となる「メダロット8」をニンテンドー3DS向けタイトルとして発売いたしました。

上記の結果、売上高296,585千円（前年同期は8,936千円）、セグメント利益65,841千円（前年同期は134,895千円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して177,343千円増加した9,169,087千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が692,824千円増加したものの、流動資産のその他が302,215千円の減少、投資有価証券が124,202千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して40,300千円増加した563,607千円となりました。その主な要因は、買掛金が56,376千円の増加となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して137,043千円増加した8,605,479千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が153,588千円の増加となったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、7,596,052千円と前連結会計年度末より425,824千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は396,896千円(前年同期は219,807千円の資金減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益417,379千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は128,346千円(前年同期は220,619千円の資金減少)となりました。これは主に、投資有価証券の売却及び償還による収入228,586千円の増加要因があったものの、投資有価証券の取得による支出98,851千円の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は116,623千円(前年同期は116,812千円の資金減少)となりました。これは主に、配当金の支払額114,307千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績見通しは、平成26年5月14日付の決算短信で公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,900,227	7,593,052
売掛金	788,891	708,720
商品及び製品	16,429	29,197
仕掛品	2,614	5,079
原材料及び貯蔵品	12	18
その他	355,222	53,006
貸倒引当金	△7,415	△9,164
流動資産合計	8,055,982	8,379,910
固定資産		
有形固定資産	75,643	70,240
無形固定資産	39,173	34,256
投資その他の資産		
投資有価証券	531,438	407,236
その他	306,064	290,402
貸倒引当金	△16,559	△12,959
投資その他の資産合計	820,943	684,679
固定資産合計	935,760	789,176
資産合計	8,991,743	9,169,087
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,413	67,789
営業未払金	200,901	184,231
未払法人税等	113,978	125,292
賞与引当金	-	9,000
返品調整引当金	13,973	9,426
その他	174,083	161,335
流動負債合計	514,350	557,075
固定負債	8,955	6,531
負債合計	523,306	563,607
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,932,195	4,085,783
自己株式	△622,323	△622,323
株主資本合計	8,444,894	8,598,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,255	3,528
その他の包括利益累計額合計	19,255	3,528
新株予約権	4,286	3,468
純資産合計	8,468,436	8,605,479
負債純資産合計	8,991,743	9,169,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,537,153	1,694,072
売上原価	694,160	702,110
売上総利益	842,992	991,962
返品調整引当金戻入額	-	20,064
返品調整引当金繰入額	-	15,517
差引売上総利益	842,992	996,510
販売費及び一般管理費	624,940	633,454
営業利益	218,052	363,056
営業外収益		
投資事業組合運用益	15,509	7,342
為替差益	-	17,641
貸倒引当金戻入額	3,600	3,600
その他	9,775	4,544
営業外収益合計	28,884	33,129
営業外費用		
為替差損	15,902	-
持分法による投資損失	2,583	173
雑損失	-	2,000
その他	11	249
営業外費用合計	18,497	2,423
経常利益	228,440	393,761
特別利益		
投資有価証券売却益	208,016	23,806
新株予約権戻入益	-	817
負ののれん発生益	5,002	-
特別利益合計	213,018	24,623
特別損失		
投資有価証券評価損	-	1,005
投資有価証券売却損	142,595	-
特別損失合計	142,595	1,005
税金等調整前四半期純利益	298,863	417,379
法人税、住民税及び事業税	89,632	118,215
法人税等調整額	54,265	30,403
法人税等合計	143,898	148,619
少数株主損益調整前四半期純利益	154,965	268,760
四半期純利益	154,965	268,760

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	154,965	268,760
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△58,139	△15,727
その他の包括利益合計	△58,139	△15,727
四半期包括利益	96,825	253,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,825	253,032
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	298,863	417,379
減価償却費	15,513	13,509
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△934	△1,850
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,000	9,000
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	-	△4,547
為替差損益 (△は益)	15,546	△17,204
投資有価証券売却損益 (△は益)	△65,420	△23,806
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	1,005
投資事業組合運用損益 (△は益)	△15,509	△7,342
持分法による投資損益 (△は益)	2,583	173
負ののれん発生益	△5,002	-
売上債権の増減額 (△は増加)	103,190	54,947
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,134	△15,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,676	56,376
営業未払金の増減額 (△は減少)	△84,233	△16,669
未払金の増減額 (△は減少)	△105,267	△31,216
前受金の増減額 (△は減少)	13,125	30,898
その他	△59,147	18,874
小計	74,496	484,287
利息及び配当金の受取額	8,690	618
利息の支払額	-	△70
法人税等の還付額	163	19,950
法人税等の支払額	△303,158	△107,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	△219,807	396,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,800,130	△98,851
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,588,598	228,586
その他	△9,087	△1,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,619	128,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△114,536	△114,307
その他	△2,275	△2,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△116,812	△116,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,546	17,204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△572,785	425,824
現金及び現金同等物の期首残高	6,313,493	7,170,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,740,708	7,596,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	モバイル コンテンツ 事業	モバイル コマース 事業	パッケージ ソフトウェア 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,272,684	255,552	8,916	1,537,153	—	1,537,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	19	19	(19)	—
計	1,272,684	255,552	8,936	1,537,173	(19)	1,537,153
セグメント利益 (又は損失)	470,339	5,291	(134,895)	340,734	(122,682)	218,052

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去1,026千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,708千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	モバイル コンテンツ 事業	モバイル コマース 事業	パッケージ ソフトウェア 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	1,223,247	174,430	296,394	1,694,072	—	1,694,072
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	209	190	400	(400)	—
計	1,223,247	174,640	296,585	1,694,473	(400)	1,694,072
セグメント利益	424,590	3,872	65,841	494,303	(131,247)	363,056

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去790千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△132,037千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、セグメント情報における報告セグメントを従来「モバイルコンテンツ事業」、「モバイルコマース事業」、「パッケージソフトウェア事業」及び「投資教育事業」の4区分としていましたが、第1四半期連結会計期間より、「モバイルコンテンツ事業」、「モバイルコマース事業」及び「パッケージソフトウェア事業」の3区分に変更することといたしました。

これは、前連結会計年度において「投資教育事業」を営むイマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社の全株式を譲渡したことにより重要性が乏しくなったことに伴い、「投資教育事業」を「モバイルコンテンツ事業」に含めるよう変更したことによるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。